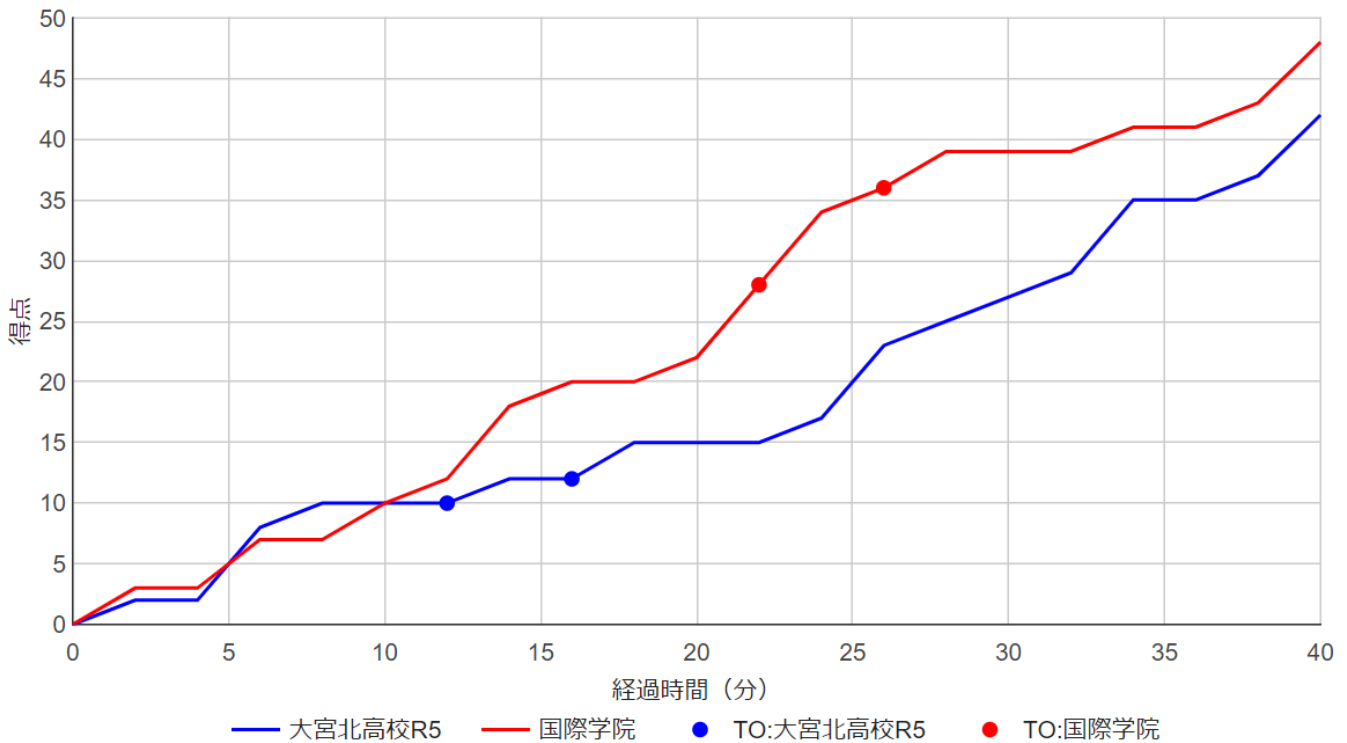


# 女子バスケットボール部 インターハイ南部支部予選 代表決定戦

大宮北	42	[	10 - 10	]	48	国際学院
			5 - 12			
			12 - 17			
			15 - 9			

得点 #14 こう 17 #4 ふう 9 #5 りい 8 #24 のあ 6 #31 いぶ 2  
 リバウンド #24 のあ 12 #4 ふう 8 #14 こう 7 #72 ねお 6 #5 りい 5  
 スティール #24 のあ 4 #14 こう 3 #4 ふう 2 #72 ねお 2

得点経過



## 第1Q 10-10

代表決定戦の対戦相手は夏季南部支部選手権 54-69、春季南部支部選手権 48-87、と1年間で3回目の対決となった国際学院、夏季南部支部選手権第5位、新人大会南部支部予選第4位、新人県大会ベスト32、関東予選県大会ベスト16と大会ごとに着実に力を伸ばしてきた国際学院とどう戦うか。引退か県大会か、鍵は春には10本以上差がついたリバウンドであった。

ファウルによるFTで先制を許すが#14 こうのレイアップで逆転、すぐに得点され1分半で2-3、ここで試合はこう着状態へ、3分間ノーゴール、4分半ファウルからFTを2本決められ2-5となるが#14 こうの3Pで5-5の同点、先に得点を許すが#5 りいの3Pで8-7、#14 こうの得点で10-7とするものの国際学院#11の3Pで両者譲らず同点の入りとなった。

## 第2Q 5-12

国際学院のプレッシャーDFにシュート数が減り3分半ノーゴール、10-16とDFを粘りながら我慢の展開。#14 こうが得点するがすぐに返され12-18と点差は縮まらない。#31 いぶのレイアップと#4 ふうのFTのみの得点で15-22のロースコアゲーム7点差での折り返しとなった。

### 第3Q 12-17

得点が取れぬまま国際学院ペースに3分半で15-34と得点を広げられる。過去2回はこのままずるずると負けてしまった。#4ふうがレイアップを決めてゲームを動かす。失点を許すものの#14こうが得点19-36、DFの粘りから走り流れを呼び込む。#24のあの連続得点で23-36、国際学院#6に3Pを決められ流れが戻りかけるが#14こう、#5りいがレイアップを決め27-39。12点差で試合は最終Qへ。

### 第4Q 15-9

#14こうの得点で29-39の10点差、2分間両チームの得点が止まり我慢比べ、DFの粘りから#24のあのレイアップで31-39の8点差、#4ふうが連続得点で残り6分半で4点差と詰める。残り6分を切って国際学院#12のレイアップで35-41の6点差、約3分間得点は止まる。残り3分半、#4ふうの得点で37-41、残り2分ファウルからFTを2本決められ37-43、残り1分半#5りいの3Pに#14こうの得点で42-43と詰め寄る。

しかし、追い上げもここまで。粘る国際学院#11のバスケットカウントにFTを決められ、#7に得点を許し、最終スコア42-48の敗戦となった。無念の敗退、3年生は引退となった。春季大会ではDFリバウンドが19-30と大きく負けたのに対し、この試合は30-20と取り返した。常に成長をめざし、多くの努力をしてきた3年生に感謝と敬意を示したい。

これまでの応援ありがとうございました。新チームもさらに頑張ります。今後ともさいたま市立大宮北高等学校女子バスケットボール部の応援をよろしくお願いいたします。